

SDS 登録 No.00330194-JP1

製品名 レクサス純正ファブリックコート B 液

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	レクサス純正ファブリックコート B 液
製品分類	布地用コート剤
主な用途	自動車用ファブリックコート
会社名	シーシーアイ株式会社
住所	〒501-3923 岐阜県関市新迫間 12
担当部門	カーケア用品事業部 技術部 技術グループ
電話番号	0575-24-4632
FAX 番号	0574-24-7223
発行日	2020 年 3 月 17 日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分3
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)
急性毒性(経皮)		分類できない
急性毒性(吸入:ガス)		分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)		分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)		分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)		分類できない
皮膚腐食性・刺激性		分類できない

SDS 登録 No.00330194-JP1

製品名 レクサス純正ファブリックコート B 液

環境に対する有害性	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分外
	特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分外
	吸引性呼吸器有害性	区分外
	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語:	警告
危険有害性情報:	引火性液体及び蒸気
注意書き	
安全対策	熱・火花・裸火・高温物のような着火源から遠ざけること 禁煙 容器を密閉しておくこと。 容器を接地すること・アースを取ること。 防爆型の電気機器・換気装置・用明機器・照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講じる事。 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。
応急処置	皮膚または髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐ事 火災の場合; 消化するために粉末消火薬剤、水溶性液体泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水を使用すること。
保管	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄	内容物・容器を地方自治体の規則に従って破棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

含有成分及び含有量

成分名	含有量 (wt%)	CAS No	化審法 No	労安法 (No)	PRTR 法 (No)	毒劇法
ポリシロキサン誘導体	20~35	-	-	-	-	-
エタノール	3~7	64-17-5	2-202	2-202	-	-
純水	60~70	7732-18-5	-	-	-	-

注記 化審法 No: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報告示番号

SDS 登録 No.00330194-JP1

製品名 レクサス純正ファブリックコート B 液

労安法:労働安全衛生法

PRTR 法:特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善に関する法律

毒劇法: 毒物及び劇物取締法

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休憩させる。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐ・取り除く・皮膚を流水若しくはシャワーで洗う。多量の石鹼と水で洗う。水疱、痛みなどの症状が出た場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。正常な水で数分間、目を洗浄した後に、直ちに眼科医の手当てを受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状

吸入した場合 データなし

皮膚に付着した場合 データなし

眼に入った場合 データなし

5. 火災時の措置

消火剤 二酸化炭素/粉末消火薬剤/砂/霧状水/泡消火剤等

使ってはならない消火剤 データなし

火災時の特有の危険有害性 データなし

消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業の際には保護具(製品の性状に適したものを指定する)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

回収後の少量の残留分は、土砂またはおがくず等に吸収させる。少量の場合には乾燥土、土、おがくず、ウエス等(製品の性状に適したものを指定する)に吸収させて密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 特になし

注意事項

取り扱いは換気の良い場所で行う。作業場の換気を十分行う。

SDS 登録 No.00330194-JP1

製品名 レクサス純正ファブリックコート B 液

安全取扱注意事項

眼、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件**

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。食料や飲料から離して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置**管理濃度、許容濃度**

データなし

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱場所の近くに、洗顔及び身体洗浄の設備を設置する。

保護具

呼吸器用の保護	簡易防塵マスク。
手の保護具	保護手袋の着用が望ましい。
眼の保護具	保護眼鏡の着用が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴、保護前掛を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	白色液体
臭い	特異臭
融点	-5°C(融点)
沸点	90°C
蒸気圧	100hpa(50°C)
密度	0.9~1.0(20°C)
pH	8.0~9.5
引火点	44°C
溶解性	混和
爆発範囲	なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い条件では安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報**製品に対する有害性情報****急性毒性**

LD50>5000mg/Kg(ラット)

SDS 登録 No.00330194-JP1

製品名 レクサス純正ファブリックコート B 液

皮膚腐食性、刺激性

刺激性なし(ウサギ)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

刺激性なし(ウサギ)

12. 環境影響情報**製品に対する有害性情報****残留性・分解性**

BOD 109mg/g、COD 206mg/g。

他の有害影響

魚毒性 ・LC50:>100mg/l(ゼブラフィッシュ;96h)

テスト法 ・OECDガイドライン209に基づく活性汚泥微生物の呼吸抑止作用

生分解性 301D ・85%(密閉容器)

13. 廃棄上の注意**残余廃棄物**

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理 を委託する。

容器・包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意**国際規制**

国連番号 非該当

国連分類 非該当

容器等級 非該当

海洋汚染物質 非該当

国内規制

「7 取扱及び保管上の注意」を参照。容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を確実に。該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

15. 適用法令

船舶安全法 非該当

消防法 危険物 第4類引火性液体 第2石油類(水溶性液体)

航空法 非該当

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(エタノール)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(エタノール)

SDS 登録 No.00330194-JP1

製品名 レクサス純正ファブリックコート B 液

3. 組成及び成分情報に記載

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 3. 組成及び成分情報に記載

海洋汚染防止法 非該当

16. その他の情報

参考資料

溶剤便覧

急性中毒処置の手引

GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

GHS に基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2014)

GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 (JIS Z7253:2012)

注意 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、如何なる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。